



国立大学リスクマネジメント情報

2017(平成29)年7月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

特集テーマ

渡航と訪日来訪者の安全と保険

夏休みを迎え、海外への渡航や外国からの学生や研究者の訪日が増加します。本号では、外務省が制作した「ゴルゴ13」を素材としたマニュアルのほか、海外渡航者と訪日外国人に関する保険等についてご紹介します。

1. ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル



外務省では、海外渡航における安全確保に向け様々な取組みを行っていますが、その一つとして世界的にも有名な漫画の主人公である「ゴルゴ13」を素材とした海外安全対策マニュアルを作成しHP上で公開しています。「中堅・中小企業向け」とのタイトルになっていますが、内容は一般に共通するものであり、一部空港で一般旅行者に冊子版が配布されています。

マニュアルは「ゴルゴ13」を素材とした漫画仕立てのストーリーとその内容についての解説が掲載されています。以下、同マニュアルから特に参考になるとと思われる箇所について、印象深いゴルゴ13のセリフと漫画の一部を抜き出し、解説文の一部を要約してご紹介いたします。

「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」(海外安全ホームページ)

URL : http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

① 「たびレジの登録はすんでいるのか・・・」(第2話)



©さいとう・たかを



©さいとう・たかを

「たびレジ」とは滞在期間が3か月未満の人向けのサービスです。滞在先の最新安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、またいざという時の緊急連絡などをタイムリーに受け取れる便利なシステムです。「たびレジ」に登録しておくことで、海外で重大な事件や大規模な事故・災害などが発生した場合、外務省が安否確認を行い、必要な支援をスムーズに受け取ることができます。



② 「必要な情報は外務省海外安全情報に全て出ている・・・」（第3話）



©さいとう・たかを

外務省では「海外安全ホームページ」、「携帯版・海外安全ホームページ」、「海外安全アプリ」、「たびレジ」等により海外安全に関わる情報を次のような分類でわかりやすく掲載しています。

- ①危険情報、
- ②感染症危険情報、
- ③スポット情報、
- ④広域情報、
- ⑤安全対策基礎データ、
- ⑥テロ・誘拐情報。

また、海外での安全対策に関わる注意事項をまとめた6種類の「海外安全パンフレット」もHPに掲載しています。

③ 「わ、私は海外でひとり旅をする心構えができていなかった！」（第6話）



©さいとう・たかを

海外渡航・赴任に当たっては「自分の身は自分で守る」という意識が必要です。

特に空港、ホテル、外出・移動時は注意が必要です。また、危険を避けるよう行動し、体調を整え、情報収集を継続的に行うことも重要です。

④ 「お前は安全のための、三原則を知っているか？」（第7話）



©さいとう・たかを

海外渡航・赴任の際には「安全のための三原則」を守って行動することが、危険を避けることに役立ちます。「安全のための三原則」とは

- ①目立たない
- ②行動を予知されない
- ③用心を怠らない

です。



⑤ 「責任あるトップは自ら危機管理と安全対策に関与すべきだ」 (第9話)



©さいとう・たかを

海外渡航に係る危機管理は、渡航者本人が高い意識を持つことは当然ですが、組織として事前の安全対策や事後の対応を含めた体制整備を行うことが必要です。そのためにはトップ自らが危機意識を持って組織内の体制整備に関心を持ち、マニュアルの整備や海外渡航者への教育をしっかりと行うことが重要です。

※マニュアルの目次 (※タイトルの後の () は各話の舞台を示す。)

- 第1話 外務大臣からの依頼 (日本)
- 第2話 「たびレジ」 (パキスタン)
- 第3話 外務省海外安全情報 (タイ)
- 第4話 中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク (インドネシア)
- 第5話 情報収集 (ベルギー)
- 第6話 海外渡航の基本的心得 (メキシコ)
- 第7話 安全のための三原則 (フィリピン)
- 第8話 オフィスの安全対策 (ドイツ)
- 第9話 トップの意識 (ケニア)
- 第10話 平時の危機管理 (トルコ)
- 第11話 有事への備え (イラク)
- 第12話 有事への対応 (イラク)
- 第13話 G マニュアルの完成 (米国)

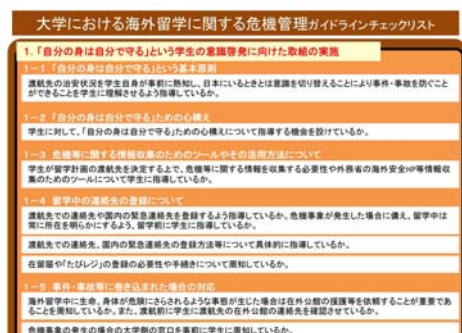
2. 教育機関関係者向け「海外安全対策講座」



外務省では、教育機関向けに実施した「安全対策セミナー」の内容をあらためて編集し、その動画をHPに掲載しています。YouTube で閲覧することが可能です。

URL : http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/anzen_kouza.html

3. 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン



文部科学省では、外務省と協力して「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」を制定し、各大学が行う①学生への意識啓発、②大学における危機管理体制の整備についての留意事項を、チェックリスト形式で公表しています。

URL : http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1384531.htm



4. 海外渡航に関する保険等

前項でご紹介したチェックリストにおいても、1-6として「海外旅行保険について」の項目が設けられています。

渡航する学生や教職員に対し、海外旅行保険への加入を指導、指示することが重要で、特に大学や学部が募集する渡航プログラムでは、学生に海外旅行保険加入を義務付けることが不可欠です。

公益財団法人日本国際教育支援協会が制度運営する「学研災付帯海外留学保険（付帯海学）」は、このようなプログラムに参加する学生に対し、学研災との補償の重複を省いたお助めの補償内容を低廉な保険料で提供する保険ですので、ご活用ください。

補償内容		2017年度プラン	
		基本プラン 割引:▲40.5% (※)	拡充プラン 割引:▲40.5% (※)
傷害死亡		3,000千円	10,000千円
		<small>※学研災の対象として、上記に加え、Aタイプ2,000万、Bタイプ1,200万円が学研災からお支払いされます。(「正課中」、「学校行事中」以外は半額)</small>	
傷害後遺障害		3,000千円	10,000千円
		<small>※学研災の対象として、上記に加え、Aタイプ120万～3,000万円、Bタイプ72万円～1,800万円が学研災からお支払いされます。(「正課中」、「学校行事中」以外は半額)</small>	
治療・救援費用		50,000千円	100,000千円
疾病死亡		3,000千円	10,000千円
留学生賠償責任保険		100,000千円	100,000千円
携行品損害		100千円	200千円
航空機寄託手荷物		—	100千円
航空機遅延		—	20千円
保険料	31日まで	6,370円	8,340円
	3か月まで	17,760円	21,450円
	6か月まで	40,050円	47,460円
	1年まで	84,750円	99,650円

※(1-包括割引15%)×(1-損害率による割引30%)

(原則上記プランになりますが、個別に相談可。)

上記以外の海外旅行保険に加入する場合でも、十分な補償内容となっているかを確認する必要があります。クレジットカード付帯の海外旅行保険等の場合、必要な補償内容が含まれていない場合があるので注意が必要です。

また、海外での病気や事故への対応、日常的な連絡や有事の際の安否確認等、海外旅行保険では行われないサービスを提供する専門のアシスタンス会社もあります。このような業務は24時間の即応体制が必要ですが、大学の業務として人員配置をすることはなかなか難しいのではないのでしょうか。ご活用をご検討ください。

参照

国立大学リスクマネジメント情報 (2013(平成25)年5月号)

「学生の海外派遣と保険」

URL: http://www.janu-s.co.jp/mail_magazine_html_data/pdf/2013/h2505.pdf

国立大学リスクマネジメント情報 (2016(平成28)年5月号)

「海外留学保険の改訂、テロ等と保険」

URL: http://www.janu-s.co.jp/mail_magazine_html_data/pdf/2016/h2805.pdf



5. 受入れ留学生、訪日研究者に関する保険等

夏休みの時期は、海外からの研究者、学生等の来日も多くなります。

受入れ留学生向けの保険としては、公益財団法人日本国際教育支援協会が制度運営する「学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）」をお勧めできますが、短期間の受入れへの対応、保険料をおさえるための補償の選択、外国語でのパンフレットと事故受付等のご要望があり、平成29年度から募集が開始されたのが「インバウンド付帯学総」です。

付帯学総の全体構成とインバウンド付帯学総

その他	オプション 育英費用 注3		
	オプション 学業費用 注3		
	オプション 感染予防費用	オプション 生活用動産+借家人賠償責任 <日本国内のみ>	
賠償	学研災付帯賠償責任保険 (付帯賠償) 注1	学研災付帯学生生活総合保険 (付帯学総) (インバウンド付帯学総 注5)	
疾病 (医療費実費)	注2		
ケガ	医療費 (実費)	学生教育研究災害傷害保険 (学研災)	死亡保険金 注3
	医療費 (定額)		後遺障害保険金 注3
	死亡 後遺障害 (定額)		賠償責任保険金 注4
			治療費用保険金<日本国内のみ> 注3
			救援者費用等保険金
	正課中等		日常生活

- ※1 付帯賠償の補償は付帯学総の賠償責任保険の補償と重複する。
- ※2 正課中等の原因で疾病になることは一般的に考えられない。精神障害は補償外。
- ※3 平成25年度より、地震もしくは噴火又はこれらによる津波によるケガも補償する「天災危険担保特約」を新設。
- ※4 平成27年度より、示談代行サービスを付帯。
- ※5 平成29年度より、留学期間に合わせて月単位で加入できる「インバウンド付帯学総」が創設。「死亡」、「後遺障害」は必須加入、「賠償責任」、「治療費用」(留学期間3か月以内は傷害定額)、「救援者費用」は選択可能。

数日、数週間程度の期間来日する学生や研究者向けの保険としては、訪日外国人向けの旅行保険がお勧めです。来日後、スマホで加入手続きが行え、病気やケガの際には、多言語による相談、病院手配、キャッシュレス受診ができます。

訪日した学生や研究者に保険への加入を確認し、未加入の場合は、チラシを配り加入を勧めください。



また、受入れ留学生対象のアシスタンスサービスを提供する専門のアシスタンス会社もありますので、こちらをご活用をご検討ください。



国立大学リスクマネジメント情報 (2016(平成28)年11月号)
「外国人留学生の新たな保険」

URL: http://www.janu-s.co.jp/mail_magazine_html_data/pdf/2016/h2811.pdf

国立大学リスクマネジメント情報 (2013(平成25)年3月号)
「留学生の受入れと保険」

URL: http://www.janu-s.co.jp/mail_magazine_html_data/pdf/2013/h2503.pdf



H29. 6 月

大学リスクマネジメント News PickUp

<Web 上のニュースから検索>

<大学の管理・経営>

- 6. 5 ○大学の准教授が、大学内の不正を厚生労働省に内部告発したところ、その情報を大学側に漏らされたとして、国などに損害賠償を求めた訴訟が和解。国が和解金を支払う。
- 6. 6 国立大学法人評価委員会は、中期目標・計画の達成状況評価を発表。業務運営について2大学で重大な改善事項があると指摘。
- 6. 14 東海地方の国立8大学が、南海トラフ地震やその他の大規模災害に備えて連携協定を締結。
- 6. 23 原子力規制委員会が、大学などの研究用原子炉を使う学生や研究者を対象に、精神疾患の有無や犯罪歴といった身元調査の実施を大学に要請していることが報道。
- 6. 29 ○大学附属病院に救急搬送され死亡した女性の夫が、病理解剖報告書を不開示にしたのは違法だとして提訴。示談交渉するため開示を求めたが、大学は内部指針により不開示。

<事件・事故>

- 6. 9 ○大学附属病院の研究施設で実験器具から出火。大学院生が胸や背中にやけどを負う。
- 6. 9 ○大学の助教が、ガラス瓶の底に残っている薬品を水で洗い流そうとしたところ、大きな音とともに火柱が上がって顔などに軽いやけど。
- 6. 13 ○大学の学生寮にイノシシが迷い込み、一時警察が寮を封鎖。

<入試等ミス>

- 6. 2 ○大学は、1月に実施した入試で採点ミスがあったと発表。再判定の結果2人を追加合格。2人は既に他大学に入学していたため、受験料を弁済。

<ハラスメント>

- 6. 16 ○大学は、教員が学生に性的発言をくり返し、体を触るなどのセクハラ行為をしたとして論旨解雇の懲戒処分。

<情報セキュリティ>

- 6. 26 ○大学は、中国からの不正アクセスで附属病院の患者220人分の個人情報が入り込んだおそれがあると発表。大学院生が患者のデータをフリーメールで受け取ったが、そのフリーメールのサーバに中国から不正アクセスがあったことがわかった。
- 6. 29 ○大学は、非常勤講師が担当している授業の履修者129人の氏名、学生番号、小テストの評価などが保存されていたUSBメモリが所在不明になっていると発表。他大学の図書館設置のパソコンを使用後、所在がわからなくなっている。メモリにパスワードや暗号化は講じられていない。

<学生・教職員の不祥事>

- 6. 14 ○大学の学生寮の1室が焼けた火災で、女子大学生を放火の疑いで逮捕。
- 6. 19 2大学の外国人留学生2人が、大麻取締法違反や麻薬取締法違反の疑いでそれぞれ逮捕。
- 6. 19 ○大学附属病院の男性看護師が、患者の女性を盗撮したとして準強制わいせつ容疑で逮捕。同容疑者は別の女性患者の体を触った容疑で逮捕、起訴されている。
- 6. 21 ○大学の学生が、転売目的で他人のノートパソコンを盗んだとして窃盗容疑で逮捕。
- 6. 26 ○大学の看護師が、危険ドラッグを密輸入しようとして関税法違反で地検に告発。
- 6. 28 ○大学は、授業を受けていない学生に単位を与えたとして教授を停職2か月の懲戒処分。

<不正行為>

- 6. 1 ○大学は、カルテを改ざんするなどの不適切な臨床研究を行っていた准教授を休職2か月、前学長を戒告の懲戒処分。3月末で准教授は退職。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただいております。(無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 17. 6月 国大協保険FAQ (その4)
- 17. 5月 個人情報保護法の改正
- 17. 4月 学生の賠償責任と保険
- 17. 3月 無期雇用への転換
- 17. 2月 国大協保険FAQ (その3)
- 17. 1月 国際交流特約の次年度改定
- 16. 12月 熊本地震と大学の対応
- 16. 11月 外国人留学生の新たな保険

※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス
東京都千代田区神田錦町3-23

協力 株式会社インターリスク総研
三井住友海上火災保険株式会社